

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
 重点的取組 2 心と体の健康づくりを支援する

担当課名	福祉保健部 健康推進課		
予算科目	会計	23	介護保険特別会計
	款	03	地域支援事業費
	項	01	介護予防事業費
	目	02	一次予防事業費

事業名	一次予防事業(健康はつかいち21事業)	事業開始年度	平成 20 年度
	(健康はつかいち21推進事業、ウォーキング推進事業、健康づくり普及啓発)	根拠法令 条例 個別計画等	健康増進法 廿日市健康増進計画(健康はつかいち21)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	65歳以上の市民	市民がウォーキングや健康まつりに参加することで、自らの健康づくりの意識を高め、健やかでこころ豊かに生活できるようになる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	健康はつかいち21推進協議会	健康はつかいち21推進協議会へ委託及び補助することで、地域に密着した事業を円滑に実施し、市は事務局として指導及び運営補助を行う。

3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康はつかいち21推進協議会 廿日市健康増進計画「健康はつかいち21」の推進、調査、評価、策定を本協議会で行う。年2回の開催。 健康はつかいち21課題領域別委員会 分野別の目標と目標達成のための取り組みを達成するため、食の健康づくり委員会、ウォーキング大会実行委員会、こころの健康づくり委員会、禁煙対策委員会、歯と口の健康づくり委員会の5つの課題領域別委員会の設置。各分野の取り組みの方向性や課題を抽出する。 健康はつかいち21地域会 健康はつかいち21の取り組みを市民に広く周知していくために、廿日市地域会、佐伯地域会、吉和地域会、大野地域会、宮島地域会の5つの市民グループがある。健康づくりのイベント、各地域の交流ウォーキング、調理実習など様々な機会を通じて市民に健康はつかいち21を周知している。 健康づくり普及啓発 (イベント事業)健康づくりを普及啓発するために、廿日市地域で「歯の何でも相談日」「あいプラザまつり」を、大野地域で「健康を守るつどい」を実施する。内容は、健康相談、骨密度測定、歯科検診、体力測定、ウォーキング、肺年齢チェックなどを実施する。 (普及啓発)市民一人一人が、「健康になろう」という思いを育て、健康寿命の延伸に向けて取り組んでいくため、健診受診勧奨や交流ウォーキングへの周知など、啓発キャラクターを活用しながら健康づくりのための啓発を行う。 事業費関連 【歳入】 国25%、県12.5%、市12.5%、1号保険者21%、2号保険者29% 【歳出】 健康はつかいち21推進協議会補助金 500 千円 (外に500千円を国民健康保健特別会計で計上) 歯のなんでも相談日委託料 200 千円 (外に200千円を国民健康保健特別会計で計上) 							
	コスト情報(円)	項 目						
		直接事業費 A						
		財源内訳	国庫支出金	700,000	700,000	700,000		
			県支出金	175,000	175,000	175,000		
			借入金(市債)	87,500	87,000	87,000		
			その他(使用料など)	350,000	350,000	350,000		
			市(市税など)	87,500	88,000	88,000		
		人件費(按分) B		0.62 人	0.82 人	0.82 人		
		総事業費(A+B)		5,438,640	7,876,640	6,979,020		
ト換算		① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人			
	② 市民1人当たり	52	67	65				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動	健康はつかいち21事業延べ参加者数	人	8,591	8,900	9,200	9,500	
	成果	健康はつかいち21事業実施回数	回	74	80	85	90	
	成果	健康だと感じている人の増加	%	70.3	75	75	75	
成果	健康寿命の伸長	年	男80.03 女84.57	健康はつかいち21を評価する平成29年度に再検討する				